

杉並区立井草中学校 地域運営学校の取り組み (Community School)

コミュニティ・スクールの具体的導入の在り方、充実に向けた方策

1. CS指定にいたるまでの経緯

17年度

学区内の桃井第四小学校と三谷小学校が
地域運営学校に指定される

※井草中は学校評議員会での議論の結果、応募を見送った。

2年後

19年度

コミュニティ・スクールに指定

1)当初CS応募を見送った理由

- ・ **地域の人材発掘への不安**

地域に体力はあるのか、学校だけで大丈夫なのか

- ・ 「**地域運営学校**」の理解不足

メリットは何か、デメリットは何か

- ・ **人材の登用に関する不安**

中学校の教育、中学生の特性を理解している方が委員となるのか

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

2)地域運営学校(CS)となったきっかけ

<意識面>

学校希望制開始後、生徒数減少

→危機感から地域で協力しようという雰囲気

<人材面>

創立50周年を機に同窓会の再生(H11)

→町会・商店会との連携を取り易くなった

学校とPTAの協力体制の再確立(H14~)

→その後のPTA OB・OGの協力の基

おやじの会発足(H15)→現役社会人の協力

前校長の赴任(H16)→学校経営方針

➡ 地域運営学校への自信につながった

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

3) CSを見送ってから努力したこと ～地域連携の基盤づくり

- ・校長、PTAを中心に地域行事への参加
- ・道徳、総合的な学習の時間で地域の方をゲストティーチャーとして招待
- ・土曜日学校『ISS』をPTAのOB主体で発足
- ・子ども居場所事業『“ホッと”すぺーす』をPTAのOB主体で発足
- ・職場体験の5日間実施に地元商店会が協力体制
- ・「学校支援本部“^{えん}〇”」発足

地域後援者と教員が懇親会で“夢”を共有

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

4) CS指定後の地域支援の充実

- ・教員側の窓口『地域連携・研修委員会』発足
- ・『地域運営型部活動』スタート(野球部・硬式テニス部)
- ・『資格(英・数・漢検)取得サポーター』、『図書サポーター』をPTA、PTAのOB主体で発足
- ・『I組(特別支援学級)サポーター』発足
- ・土曜日学校とボランティア隊活動の融合で生徒の地域活動の充実

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

5)どのようにして地域人材を集めるか？

・PTAのOBの活用

歴代PTA役員経験者を中心に学校支援本部に参加
 現役、OBのおやじの会メンバーは時間の合い間に参加

・同窓会の活用

専門知識、技能などを持つ人材を同窓会のネットワークから紹介

・町会、商店会との関係

学校行事、地域行事を共に支え合う。(井草方式)

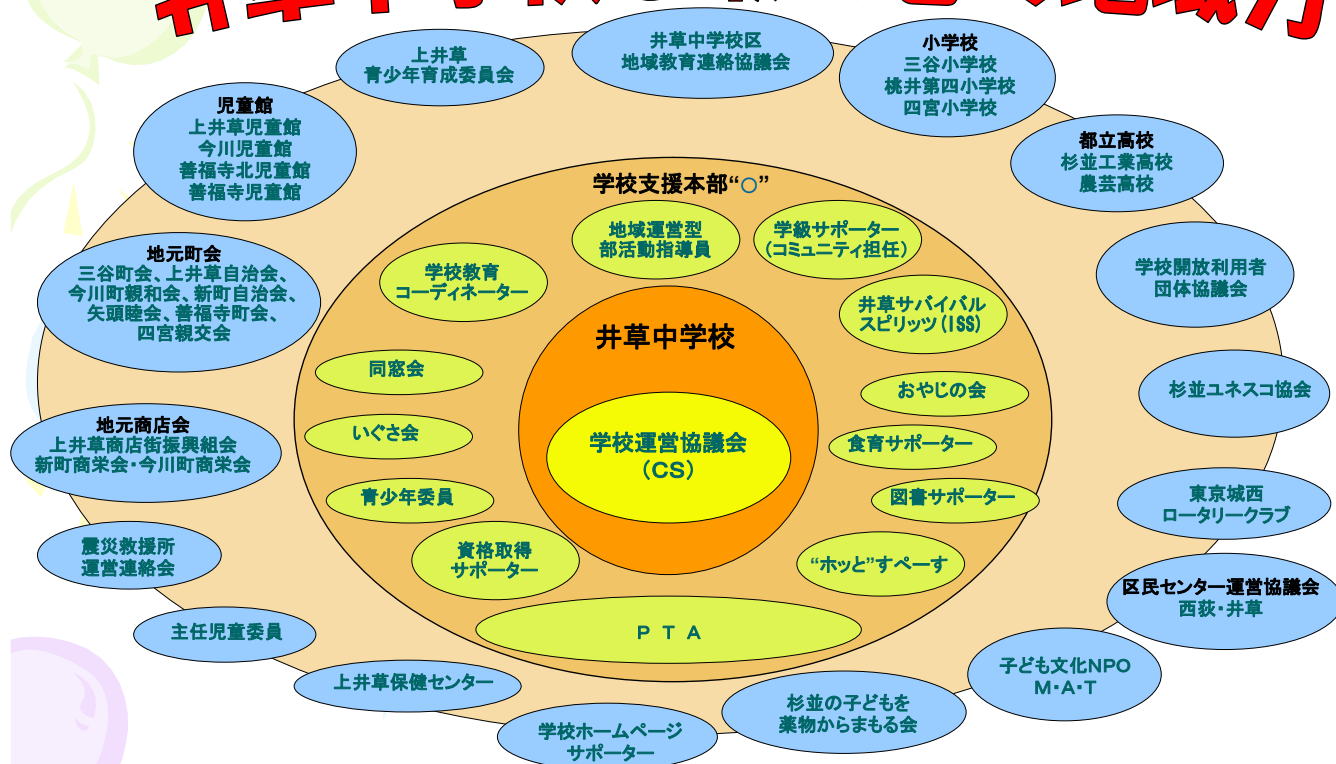
・保育園、児童館、保健センター、老人福祉施設、 高校など地域の公共施設との関係

・ユネスコクラブ、ロータリークラブ、区民センター運営協議 会など地域の他団体との関係

当初から校長が自らコーディネータ
 となり人材発掘してきた。

最近では学校支援本部、地域コーディネータを中心に人材発掘に貢献

井草中学校を取り巻く地域力



2 学級サポーター (愛称 コミュニティー担任:コミ担)

平成21年4月学級サポーターを設置

- ・ 地域の人々の各クラスの担任という意味
- ・ 担当のクラスの生徒・保護者・学級担任の応援団
- ・ 学校・学年行事の応援
- ・ 道徳・学活・総合的な学習の時間などのゲストティーチャー、体験学習発表の参観
- ・ 普段の授業参観、交流給食
- ・ 家庭教育アドバイザーとして保護者会への参加

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

1) コミ担制度設置の理由

- ・ 先輩保護者から現役保護者へのアドバイス
- ・ 学校と保護者の中間の立場にたった課題解決
- ・ 保護者連携について若い学級担任へアドバイス
- ・ 生徒の豊かな人との関わりの機会
- ・ 生徒がCS委員を身近に感じ地域連携を肌で感じる機会

学校運営協議会・学校支援本部に提案し、了承

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

2) コミュニティー担任制度発足の準備

- ・ コミ担の「べき・べからず集」の作成、配布
- ・ コミ担研修会の実施
- ・ 保護者への説明・紹介（4月保護者会）
- ・ 生徒への説明・紹介（4月総合的な学習の時間・地域連携教育オリエンテーション）

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

3) コミュニティー担任制度の成果

- ・ 保護者会運営の若手教員へのアドバイス
- ・ 保護者の思い、生徒の気持ちの教員への提供
- ・ 保護者会で、学級担任とは別の視点で学級の様子や、子どもたちの雰囲気を提供
- ・ 学校行事への応援（運動会は生徒席で応援・見守り）
- ・ 運動会・合唱コンクールなどの応援メッセージ
- ・ 学校の実態をよく知り、担任の苦労、良さの理解
- ・ 生徒の学級担任以外の地域の相談役
- ・ 生徒の挨拶の充実

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

4) コミュニティー担任制度運営上の課題

- **学級担任とコミ担との連絡会の確保**

学級担任との連絡会を月1度もっているが、時間の確保が難しい。夕方でないともコミ担が集まらない。

- **教員のコミ担の意義の理解**

着任したての教員にはコミ担の意義が理解しにくい。

- **地域連携担当教員に支えられている側面**

「コミ担通信」を担当教員が発行している。

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

3. 『井草方式』とは？

地域の方、保護者が学校に来る

地域交流授業、交流給食、地域運営部活動、土曜日学校、こども居場所、図書館、資格検定サポート 等

生徒が地域に出る

区民センター祭、早稲田ラグビー部祭、ガンダム清掃、児童館祭、老人福祉施設訪問 等

教師も地域に出る

井草八幡大祭、商店街夏祭、区民センター祭、早稲田ラグビー部祭、老人福祉施設訪問 等

さらに！

おやじの会、保護者、支援本部も地域に出る

震災救援所連絡会、区民センター祭、早稲田ラグビー部祭、商店街夏祭 等

『井草方式』のキーワードは
“双方向性”！

井草中学校・コミュニティスクールの取組み



1)生徒と地域・社会との双方向交流

『井草方式』～“双方向性”の実例

お花見給食

国際交流

地域交流授業

職場体験

卒業感謝の集い



※他に授業以外にも、土曜日学校や地域運営部活動などたくさんの『井草方式』が行われています。

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

井草方式職場体験

事前の社会人マナー教室



職場探しの
アポも自分で



職場体験に！

お礼のパンフレット作成



お礼訪問・発表



4 充実に向けた方策

- ・CSの行動目標を明確化し、この方針に沿った教育活動が行えるよう必要な議論を行う。
 - ・地域の学校としての井草の特徴を活かした、安心・安定した教育をめざす学校づくり
 - ・地域・家庭・学校の情報を共有し、地域づくりに貢献できる人材育成
- ・CS委員と教職員、PTAとの関係づくり
 - ・交流研修・バーベキュー昼食会、懇談会の実施
- ・学校支援本部“〇”(実働部隊)との役割分担
 - ・上下関係ではなく、イコールパートナーとして尊重
(情報の共有)

井草中学校・コミュニティスクールの取組み

4 充実に向けた方策

- ・地域と共に生徒を育てる意義を教職員・保護者・地域住民への浸透の継続
 - ・新任転任職員の研修、新任PTA役員の研修
 - ・CS委員の保護者会への参加
 - ・生徒の地域での活動
- ・新たな人材確保のシステム構築
 - ・キーパーソンがいなくなったらだめにならないよう学校、保護者・地域住民双方で育成
- ・人材情報のフィルター機能の構築

井草中学校・コミュニティスクールの取組み